

平成29年度新肥料展示ほ成績書(園芸作物用)

1 展示ほ設置肥料

肥料の名称： 葉活酢
保証(含有)成分： カルシウム3.4%
生産(依頼)業者： キューピー醸造株式会社

2 対象作物(品種)

作物名： たまねぎ 品種名： ターザン

3 担当者

普及センター名： 南淡路 担当普及員名： 中西幸太郎
連絡先： TEL 0799-42-0649 FAX 0799-42-4885

4 課題名と設置のねらい

課題名： たまねぎにおける葉面散布での効果確認
設置のねらい： たまねぎ慣行栽培のなかで、カルシウム欠乏に由来する生理障害の予防を目的に使用し、品質・収量を評価する。

5 展示ほの内容

設置場所： 南あわじ市賀集野田

土壌統群名 または土性	地目	ほ場の乾湿	設置条件	設置面積(a)
砂壤土	1 水田	乾	同一・隣接 その他()	合計： 12a 展示区： 3a 対照区： 9a
	2 畑			
	3 樹園地			
	4 その他			

6 耕種概要

前作物	当該ほ場の慣行の土地利用体系	栽培方法		その他特記事項
		植付け方法	基肥施肥方法	
水稻	その他 (水稻-たまねぎの繰り返し)	その他 (地床苗を手植え)	全層施肥	畝の幅 135 cm 条数 4 条/畝 畝高さ 15 cm 植付方法 手植え その他 株間 10.5cm

播種			移植			栽植密度			
区	播種日 (月/日)	播種量 (kg/10a)	区	移植日 (月/日)	移植方法	区	条間 (cm)	株間 (cm)	1㎡あたり 本数(本)
展示区	9月28日	0.2	展示区	11/25	手植え	展示区	20.0	10.5	28.2
対照区	9月28日	0.2	対照区	11/25	手植え	対照区	20.0	10.5	28.2

注) 播種及び移植は、平成28年に実施

有機質資材の施用				土づくり肥料(資材)の施用		
区	種類 (下表より選ぶ)	施用量 (kg/10a)	施用時期 (年/月)	名称 (商品名を記入)	施用量 (kg/10a)	施用時期 (年/月)
展示区	10	500	H28/9	粒状ミハラゲン(石灰質資材)	100	H28/11
対照区	10	500	H28/9	粒状ミハラゲン(石灰質資材)	100	H28/11

※稲わら等前作残渣をすき込む際は、該当資材を記載すること

有機質資材一覧

1 乾燥牛ふん 2 乾燥豚ふん 3 稲わら堆肥 4 生牛ふん 5 おがくず牛ふん堆肥 6 馬ふん堆肥
7 パーク堆肥(尿素) 8 パーク入り鶏ふん堆肥 9 もみがら堆肥 10 稲わら 11 もみがら 12 小麦わら
13 れんげすきこみ 14 ソルゴーすきこみ 15 その他()

その他特記事項:	稲わらすき込み時に、尿素を10kg/10aを添加
----------	--------------------------

7 施肥

区分	肥料名	保証成分(%)				基肥				追肥				成分量(10aあたり)			
						kg/10a				kg/10a							
		N	P ₂ O ₅	K ₂ O		月/日	月/日	月/日	月/日	月/日	月/日	月/日	月/日	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	その他
展示区	淡路玉葱化成066	10.0	16.0	16.0		40							4.0	6.4	6.4	0.0	
	淡路玉葱化成066	10.0	16.0	16.0			40						4.0	6.4	6.4	0.0	
	あわじ島化成	15.0	10.0	10.0				40					6.0	4.0	4.0	0.0	
	あわじ島化成	15.0	10.0	10.0					40				6.0	4.0	4.0	0.0	
	葉活酢(300倍葉面散布、散布時には展着剤加用)													0.0	0.0	0.0	0.0
	合計													20.0	20.8	20.8	0.0
対照区	淡路玉葱化成066	10.0	16.0	16.0		40							4.0	6.4	6.4	0.0	
	淡路玉葱化成066	10.0	16.0	16.0			40						4.0	6.4	6.4	0.0	
	あわじ島化成	15.0	10.0	10.0				40					6.0	4.0	4.0	0.0	
	あわじ島化成	15.0	10.0	10.0					40				6.0	4.0	4.0	0.0	
	合計													20.0	20.8	20.8	0.0

(施肥に関する特記事項: 基肥と追肥1回目は平成28年、追肥2回目と3回目は平成29年に施用)

8 展示ほ結果の概要と考察

葉活酢は農薬と混用せず単体で葉面散布した。3月30日に観察したところ展示区のみ葉に油浸状の陥没したシミが一部で発生したが、その後、新葉の展開に伴い目立たなくなった。収穫までの生育は同等で、生理障害及び病害虫の発生はともに無かった。収量性は展示区が球太りが良く優れた。収穫時及び吊り小屋貯蔵後の品質は同等だった。

9 普及の可能性(今後の問題点)

評価	コメント(評価で2の場合は改良や検討を要する点、3の場合は具体的な理由を記入)
1 高い	展示区は球の肥大が良く良好な収量性を示したが、葉の油浸状の陥没したシミの 一時的な発生が気になるところである。
2 ある	
3 低い (数字を○で囲む)	
4 試験実施できず (その理由)	

10 展示ほにおける具体的な数値(園芸作物用)

(1) 園芸作物生育・収量調査結果(調査時期は全て平成29年)

調査数(10株)

調査時期	3月30日	4月13日	4月27日
項目	草丈	草丈	草丈
単位	cm	cm	cm
展示区	42.6	66.4	83.5
対照区	43.6	63.9	82.8
比率	97.7	103.9	100.8

調査数(10株)

調査時期	3月30日	4月13日	4月27日
項目	生葉数	生葉数	生葉数
単位	枚	枚	枚
展示区	6.7	8.3	9.8
対照区	6.8	8.2	9.9
比率	98.5	101.2	99.0

調査数(400株)

調査時期	3月30日		4月13日		4月27日	
	生理障害・病害株率	油浸状陥没シミ発生株率	生理障害・病害株率	生理障害・病害株率	生理障害・病害株率	生理障害・病害株率
単位	%	%	%	%	%	%
展示区	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対照区	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
比率	—	—	—	—	—	—

調査数(20株)

調査数(100球)

調査時期	6月5日(収穫調査)				
	葉重	収量	平均球重	健全球率	生理障害・病害球率
単位	g/株	kg/10a	g/個	%	%
展示区	99.0	8,996	319	100.0	0.0
対照区	85.0	8,347	296	100.0	0.0
比率	116.5	107.8	107.8	100.0	—

調査数 (100球)

調査時期	6月5日 (収穫調査)				
	規格:2L	L	M	S	規格外(小)
項目					
単位	%	%	%	%	%
展示区	26.3	68.7	4.6	0.4	0.0
対照区	17.3	70.7	12.0	0.0	0.0
比率	152.0	97.2	38.3	—	—

調査数 (60球)

調査時期	8月10日 (吊り小屋貯蔵調査 収穫66日後)		
	健全球率	病害球率	生理障害球率
項目			
単位	%	%	%
展示区	95.0	0.0	5.0
対照区	96.7	0.0	3.3
比率	98.2	—	151.5

(2) その他

- ① 土壌分析結果 なし
- ② 品質分析結果 なし



油浸状の陥没したシミ(展示区 3/30)



収穫時の状況(展示区 6/5)



吊り小屋貯蔵調査時の状況
(左:展示区 右:対照区 8/10)



収穫時の状況(対照区 6/5)